

区分	専門分野	単位	2単位
科目名	小児看護学実習	時間数	90時間
講師名	専任教員	履修学年	3年次
概要	成長・発達段階を理解し小児とその家族に応じたな看護を実践するための基礎的能力を養う。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. あらゆる健康レベルの小児と家族が理解できる。 2. 健康障害や入院生活が小児・家族に及ぼす影響を理解できる。 3. 小児の発達段階を考慮し、小児とその家族必要な援助を理解できる。 4. 小児看護における看護技術および治療介助が理解できる。 5. 小児の安全を守るために必要な看護管理について学ぶことができる。 6. 小児科外来の特徴と役割が理解できる。 7. 小児看護における保健・医療・福祉チームの連携が理解できる。 		
授業内容（授業計画）			
<p>実習場所： 市立函館病院 ：小児科病棟、小児科外来 愛児園：保育園 函館中央病院：NICU・GCU</p> <p>実習方法： 1) オリエンテーション（2h） 2) 病棟：受け持ち患児1名を担当し発達段階を考えた看護援助を学ぶ（32h） 3) 病棟：看護管理（2h） 4) 保育園：健康な小児と関わり発達段階・日常生活を学ぶ（32h） 5) 外来：問診や診察の介助、乳幼児健診・予防接種の見学介助を通し 外来看護師の特徴と役割を理解する。（16h） 6) オリエンテーション・NICU・GCU：見学を通し、治療を受けている患児とその家族に対する看護の実際を学ぶ。（6h）</p>			
使用教科書・教材・参考書			
新体系看護全書 ①小児看護学概論/小児保健 メヂカルフレンド社 新体系看護全書 ②健康障害を持つ小児の看護 メヂカルフレンド社 看護実践のための根拠がわかる 小児看護技術 メヂカルフレンド社			
成績評価の方法			
出席状況、実習目標の達成度、実習姿勢、記録物等による総合評価（実習評価表）			
備考			